

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
カラーズFC広川町		2025年 4月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			2事業所あり、ぎりぎりのスペースは確保している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			適切に配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		目に見えて張り出しをしたり、注意箇所子どもたちへ事前に伝えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		事業所内は限られたスペースだが、基本屋外活動が主の為、合わせた空間を提供している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		限られたスペースでを使用をしている。また、2事業所も活用しながら活動を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフの入れ替わりや年数に応じて業務改善を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		課題にあがった際は、業務改善に繋げている。あげた方への説明もお会いして、もしくは電話等で報告するようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		何かあれば朝礼などで報告するようにしている。業務改善なども試してみてもやりやすさ等重視しながら改善するようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		社外の方に外部評価をして頂いている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1～2回は社員全体での研修があり参加している。外部にも機会があれば参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に作成し、家族などにも公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		スタッフ間でアセスメント、カンファレンスを行い計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		前述同様にスタッフ間でアセスメント、カンファレンスを行い計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書の共有を行い子ども一人一人の目標を達成できるような支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		一人一人の子どもに対して、利用状況など残せるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的に目標を設定し、支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		サッカー活動では、全体と、学年別に分けたプログラムを行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	固定化しないような活動を、日々計画立てて行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別、小集団に分けたプログラムの元、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼を必ず実施。また、アプリ等を用いて情報の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	全従業員がいるわけではないが情報の共有を行う。また、翌日の朝礼なども活用している。	指導に関わるスタッフは必ずミーティングを実施し振り返りを行うようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	連絡アプリ、活動日誌を多用して検証や改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	必要に応じて、定期的にモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	ガイドラインに沿った目標設定、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	公園遊びや室内活動などは本人がやりたいことをきめてもらい、実施している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	責任者、児発管及び、近々で児発管を取得するスタッフや児童の身体の動きを良く知るリハスタッフに会議参加をするようにしている。振り返りも実施している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	近隣の医療機関、関係施設、行政と連携して支援体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校と連携して、お互いに情報の共有や伝達を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	児童の利用開始に合わせて、会議で赴くことが多い。何かあれば、情報の共有を行うようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	今までの在籍した児童の中にはいないので、機会があれば情報の提供を行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	近隣の支援センターと連携している。勉強会などのお誘いもあり、参加出来る際は参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	他のデイサービスと試合や合同サッカーなど定期的の実施している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	広川町の自立支援協議会は、各部会長が主で出席する形式になっており、昨年一昨年度は子ども部会の会長をしており出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	気になった点などやその日の状況などは、送迎時や電話等でおつたえをしている。支援状況なども随時お伝え出来ている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	研修ではないが、親子参加型のレクリエーションの計画、実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に必ずお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	活動場面での子どもがしたい活動の提供も出来ている。また、家族のニーズも加味しながら家族支援にも繋がっていると考えている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	賛同、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談事は、電話や送迎時、また直接お会いしてお話出来ている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		親子レクリエーションや対外試合等で、他の保護者と接点を持つように呼びかけている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		早急に対応すると共に、同様の事が起きないようにスタッフ間で周知し再発防止に繋げている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		アプリや紙媒体でのカレンダーの配布で行事予定を伝えている。また実施したイベントは、SNSで発信するようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		近年、守秘義務等含め事業所全体で互いに気を付けるようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの目線に立ち、支援を行うようにしており配慮出来ている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民に対して招待などはしたことが無い為、イベントを実施して地域住民と交流するよう検討していく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練の実施も年2回、また、町内の関係機関内でも毎年勉強会の実施もあり参加している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定し、物品などの準備も出来ている。また、町内の関係機関と連携できるような体制作りをしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に必ず確認している。新たに内服等増えた際は、お伝えして頂くようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書のもと、対応をしている。契約時に、確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全な支援が出来るよう委員会を社内で開催している。研修等にも参加予定である。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画マニュアルを作成し、状況に応じて契約時にお伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故報告について、事業所内で情報の共有をし再発防止に繋げている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会の設置、研修の実施もしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明、お伝えをして了解を得ている。現時点までに身体拘束を行ったことはない。	